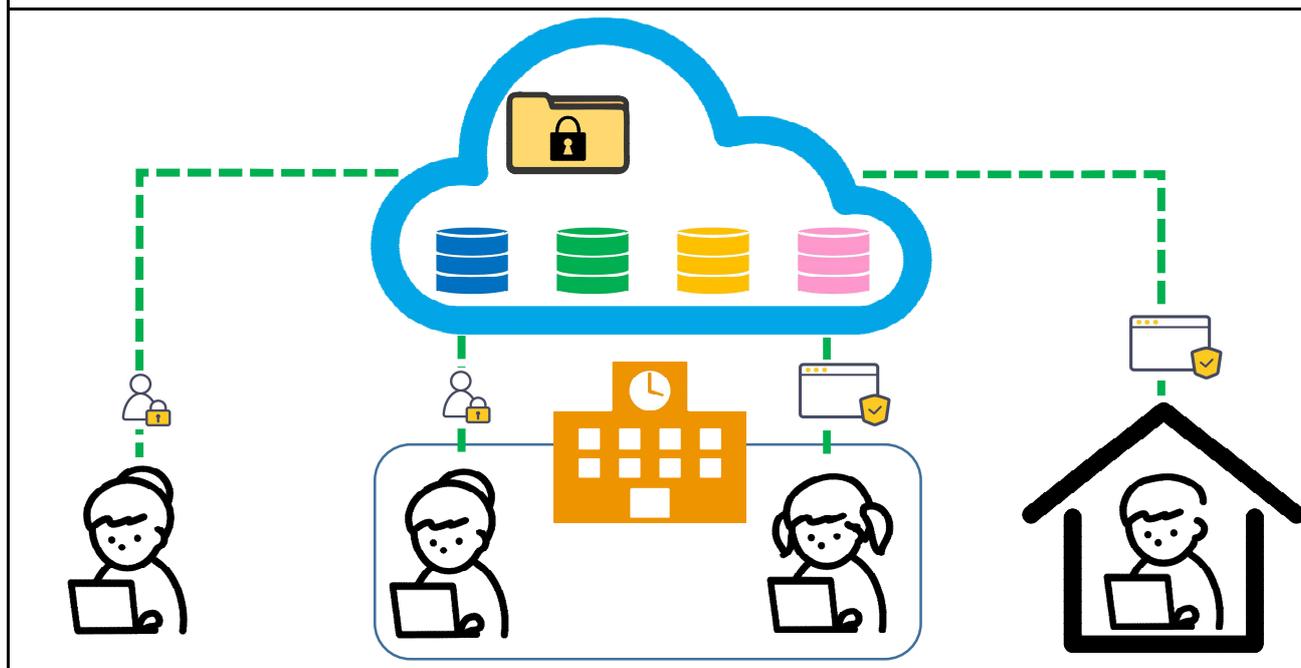


事業概要シート

施策	0202	小・中学校教育の充実	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	中学校教育ICT環境整備事業	現状維持	予算額	52,340 千円 《 67,265 》千円	
事業期間	令和2年度 ~ 令和10年度		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	学校教育の情報化の推進に関する法律、令和7年度以降の学校におけるICT環境の整備方針			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
		一般財源	52,340 千円		

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者
市内の中学校6校の生徒及び教職員
- 目的
学校教育の基盤的なツールとして、ICT環境を整備することで、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を図る。
- 事業概要
タブレットPCが最適な状態で使用できるよう高速大容量インターネット回線を整備・保守するとともに、全児童生徒へ1人1台端末を整備するなど学習基盤としてのICT環境整備を行う。またICT機器を活用した授業等が円滑に進むよう、ICT機器の整備やメンテナンス、デジタル教材の整備及びICT機器活用に関する研修等の講師を務めるGIGAスクール運営支援センターを設置する。



【背景】

ICTを活用して、個人がそれぞれの目的に応じて知識や考えを深めることや、多様な他者と協働すること等は、現実の社会の中では今や当然のことであり、ICTによって現実の社会の中で行われている方法で児童生徒も学ぶことは、学校教育を時代に即したものとすることでもある。また、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものである」とされていることから、学習指導要領の理念を実現する上でも、1人1台端末をはじめとするICT環境はその前提となっている。

担当課	教育委員会 教育総務課	課長	楠本 奈津子
担当者	山田 雄大	問合せ先	0957-53-4111 (内線376)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	生徒数に対するタブレットPCの整備率	計画値	%	100	100	100	100
②	1日のうちタブレットを用いた授業時間	計画値	時間	1	3	3	3

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	37,691	35,204	74,515	66,054	66,054	66,054	345,572
国庫支出金	1,562	837	2,381				4,780
県支出金							0
地方債							0
その他		0					0
一般財源	36,129	34,367	72,134	66,054	66,054	66,054	340,792
人件費	3,706	2,565	2,545	2,545	2,545	2,545	16,452
職員(人)	0.50人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	2.25人
時間外勤務(h)	35h	10h					45h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	41,397	37,769	77,060	68,599	68,599	68,599	362,024

妥当性 (市の関与)	GIGAスクール構想の事業主体は各地方自治体の学校設置者となっているため、学校設置者が整備する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	情報社会の発展などの社会の変化を踏まえた特色のある教育活動である。
効率性 (コスト)	増加する児童数に対して、最小限の費用で事業を実施している。国等の補助事業を活用して整備を図っている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり